

廃棄物埋設施設、廃棄物管理施設

) 放射性固体廃棄物

施設名		低レベル放射性固体廃棄物 (本)			合計 (本相当) *1	貯蔵設備 容量 (本相当)
		ドラム缶	アスファルト 固化体	その他の種類 (本相当)*1		
日本原燃(株) 濃縮・埋設事業所 (廃棄物埋設施設)	前年度末の保管量	0	-	0	0	80
	当該年度の発生量	0	-	0	0	
	当該年度の減少量	0	-	0	0	
	年度末の保管量	0	-	0	0	
日本原燃(株) 再処理事業所 (廃棄物管理施設)	前年度末の保管量	0	-	896	896	1,200
	当該年度の発生量	72	-	20	92	
	当該年度の減少量	0	-	0	0	
	年度末の保管量	72	-	916	988	
日本原子力研究開発機構 廃棄物埋設施設	前年度末の保管量	-	-	-	-	*39 -
	当該年度の発生量	-	-	-	-	
	当該年度の減少量	-	-	-	-	
	年度末の保管量	-	-	-	-	
日本原子力研究開発機構 廃棄物管理施設	前年度末の保管量	(925) 18,166	(0) 540	(42) 11,872	(967) 30,578	*40 *41 *42 42,795
	当該年度の発生量	(7) 167	(0) 0	(10) 15	(17) 182	
	当該年度の減少量	0	2	0	2	
	年度末の保管量	(932) 18,333	(0) 538	(52) 11,887	(984) 30,758	

) 放射性液体廃棄物

施設名		低レベル 放射性液体 廃棄物 (m ³)
日本原燃(株) 濃縮・埋設事業所 (廃棄物埋設施設)	当該年度の発生量	-
	当該年度の減少量	-
	年度末の保管量	-
日本原燃(株) 再処理事業所 (廃棄物管理施設)	当該年度の発生量	0.00
	当該年度の減少量	0.03
	年度末の保管量	2.66
日本原子力研究開発機構 廃棄物埋設施設	当該年度の発生量	-
	当該年度の減少量	-
	年度末の保管量	-
日本原子力研究開発機構 廃棄物管理施設	当該年度の発生量	-
	当該年度の減少量	-
	年度末の保管量	-

*39: 放射性固体廃棄物の発生はない。

JPDRの解体に伴う固体廃棄物約1,670トンが埋設されている。埋設完了。

*40: 発生量及び貯蔵量、貯蔵容量は、廃棄物埋設施設及び廃棄物管理施設用を含む。

*41: ()内の数値は当該施設からの発生量で下段の数値の内数。下段の数値は廃棄物管理施設での管理量合計を示す。

*42: アスファルト漏えいのためドラム缶2本を角型鋼製容器(ドラム缶換算1個あたり5本)2個へ収納した。